



第21代かぐや姫 市長を表敬訪問

「大好きな竹原のまち。積極的にPRしていきます！」



8月8日、第21代かぐや姫に就任した小出姫幻さんが、市長を表敬訪問しました。これまでの緑色の衣装を一新し、竹をイメージした明るい黄色の衣装で、竹原の観光を盛り上げます。

呉市出身で、普段は家事手伝いをしている小出さん。就任のきっかけを話してくれました。

『姫幻』は本名で、かぐや姫の募集があると聞いたとき、すぐに応募することを決めました。竹原は、私の大好きなまちで、町並み保存地区をよく歩いたりします。」

就任して4か月。かぐや姫として、桜まつりや竹まつりなど、様々なイベントに登場しました。

「初めは緊張していましたが、地域のみなさんをはじめ、たくさんの方が、温かく話しかけてくれて、本当に嬉しく思っています。竹原の良いところやおいしいものを、みなさんに知っていただけるよう、これからもPRをしつかり頑張ります。」

と、今後の抱負を笑顔で述べ、今後の抱負を笑顔で述べ、

「たまゆらや道の駅など、今、竹原の観光は波に乗っているところ。交流人口も少しずつ増えてきています。他の市町に負けないくらいのアピールを頑張ってください。」

と、激励の言葉を贈りました。

今後、市内外の様々なイベントやメディアでの活躍が期待されます。

熱気と感動に包まれた 竹原の夏祭り！！



今年も、市内各地で開催された夏祭り。多くの来場者で賑わいました。

7月28日～29日、竹原住吉まつりが開催されました。やっさのかけ声や權伝馬の太鼓の音が響き渡り、会場は熱気に包まれました。

7月28日は、忠海地区で忠海天神夜市も開催され、今年も天神夜市特有の手作りの夜店が並びました。

また、8月25日には、高崎町で第33回たけはら夏まつり花火大会が開催されました。午後から權伝馬競漕が行われ、市内外から、全9チームが力の限り漕ぎました。今年の花火大会は、フィナーレに尺玉が復活。夏の空に打ち上げられた見事な大輪の花に、盛大な拍手が沸き起こりました。



▲住吉まつり



▲忠海天神夜市

希望ある 平和な未来へ



8月10日、市民館で、竹原市戦没者・被災死没者追悼式並びに平和祈念式典が開催されました。

小坂市長は、

「今の平和と豊かさは、尊い犠牲の上にあることを忘れてはならない。」と、平和への誓いを述べました。また、広島県遺族会の平田修己会長（竹原市遺族連合会 竹鶴壽夫会長 代読）は、

「戦争の悲しみを風化させることなく、継承していきたい。」

と、追悼の辞を述べました。

献花後の平和祈念行事で誓いの言葉を述べたのは、忠海東小学校6年の吉田竜くん、茶野木玄くん、藤山侑子さん。

「NO MORE 大久野島」と、力強く呼びかけました。

最後に披露されたコーラスさくらの美しい歌声が、平和を願う参列者の心に深く響きました。

おめでとうございます インターハイ相撲競技個人戦優勝

8月3～5日に開催された平成24年度全国高等学校総合体育大会の相撲競技個人戦で、竹原市出身の村松裕介さん（新潟県立海洋高等学校3年）が優勝を果たしました。「高校最後のインターハイで結果を残せて嬉しい。」と村松さん。今後の活躍に期待です。



親子で元気アップ!

8月18日、荘野公民館で、「おやこ元気アップ!事業」が開催されました。

今回の事業は、文部科学省が展開している「子どもの体力向上推進事業」の一環で、福山市レクリエーション協会のみなさんの指導のもと、市内の親子約20組と地域のみなさんがエクササイズやゲームなどを楽しみました。

会場で見られたのは、いきいきとした笑顔!親子で一緒に体を動かすことで、運動する喜びや大切さを、改めて学ぶことができたのではないのでしょうか。

ゴールを目指して 最後まで!

7月28日、大乘小学校で、芸南学童水泳大会が行われました。市内10小学校が参加し、今年で第56回目を迎えた水泳大会。

小さな体で、ゴールを目指して全力で泳ぐ子ども達の姿に、会場からは拍手と声援が送られました。



個性が輝く料理が並ぶ

7月31日、農家レストラン西野で、第3回じゃがワングランプリが開催されました。吉名じゃがいもを使った23品の創作料理に、参加者は思わず笑顔。グランプリを勝ち取ったのは、「じゃがたこやき」を出品した吉名小学校でした。

じゃがワングランプリ



櫂伝馬って、楽しいね!

8月18日、竹原港で、竹原小学校の児童が櫂伝馬の乗船体験を行いました。

これは、櫂伝馬に興味をもってもらい、文化を伝承していくため、櫂伝馬保存会や地域のみなさんが企画したものです。児童21人が参加し、2グループに分かれて櫂伝馬を漕ぎました。

子ども達からは、「初めは怖かったけれど、慣れたら楽しくなった」「また乗りたい」といった感想が聞かれました。

最後は全員で乗船し、櫂伝馬の楽しさを肌で感じる事ができた様子でした。

「食」について楽しく学ぶ

7月31日、保健センターで、第1回食育ワークショップが開催され、市内で食育を推進する約60人が様々なテーマで話し合いなどを行いました。参加者からは、『食』を通していろいろな人と知り合えて良かった』といった感想が聞かれました。

